

新興国台頭と国際秩序の変遷

日本国際政治学会編

新興国台頭と国際秩序の変遷	宮城大蔵
パワーシフトと国家の人口規模	田所昌幸
日米の台頭と地域的国際秩序の連鎖	草野大希
国際組織における「新興文化大国・中国」の浮沈	潘亮
南北問題と戦後国際経済秩序	高橋和宏
ブレトンウッズ体制崩壊後の国際通貨制度の再編成	山口育人
新興国の馴化	大矢根聡
新興開発パートナーと国際開発レジーム	大平剛
台頭を目指す中国の対外戦略	青山瑠妙

〈書評〉

遠藤乾著

『統合の終焉』……………篠原初枝

末近浩太著

『イスラーム主義と中東政治』……………溝渕正季

ステイーブン・セスタノヴィッチ著

『拡大』……………島村直幸

中山俊宏著

『介入するアメリカ』『アメリカン・イデオロギー』

……………大津留(北川)智恵子
ドン・マントン、デイヴィッド・ウェルチ著

『キューバ危機』……………保城広至

道下徳成著

『北朝鮮 瀬戸際外交の歴史』……………西野純也

国際政治

183